

あんしん

在宅医療って？ 知ってみよう！

在宅医療について、どのようなイメージをお持ちでしょうか？

現在、多くの方々が病院で最期を迎えられていますが、寝たきりになっても、住み慣れた自宅等で在宅医療・介護サービスを利用して、暮らし続けることが可能になってきています。この情報誌を、在宅医療を考えるきっかけとしてご活用ください。

はじめての在宅医療を考える！！

Qさん

80歳代、夫と2人暮らし。
同じく80歳代の夫が、肺炎腫が悪化して入院。
病状が落ち着き、病院から、そろそろ退院とい
われている。夫は、「家に帰りたい」という。
自分でも体調に不安を抱えており、どうしたら
いいか？と悩む。

教えて！！！！



Aさん

ご近所の親しい
看護師さん



夫が退院するのだけど、
どうしたらいいかしら？



ご本人は、どうしたいと
言っているんですか？



「家に帰りたい」と言っているけど、
私一人では、とても介護は無理だわ。



今は、介護保険があるから、生活
面は、ヘルパーさんなどのサービス
が受けられますよ。



ありがとう。でも、病院の医師から、
酸素吸入をしながらでないと生活
できないと言われているの。



もう一度、夫とよく話し合ってみるわ。

お互いに、頑張り過ぎない様に！
お大事にしてください。

まずは、かかりつけ医に

在宅医療を希望する方は増
えています。不安な事も
多いかと思えます。また、
十分な医療提供するにも
まだまだかと思えます。



しかし、多職種との連携を
図り、自宅での療養生活を送れるように整える
ことがスムーズにできればと思っております。
まずは、かかりつけ医にご相談ください。

川崎市医師会 高橋章会長

それなら、在宅医療を利用できま
すよ。自宅に医師が定期的に来てくれ
ます。病院で受けていた治療も継続
してくれるし、具合が悪くなったと
きも、緊急で来てくれますよ。



家にお医者さんが来てくれる
の？！助かるわ。でも、私一人で
みられるかしら。



医師だけでなく、必要に応じて、
看護師や、いろいろな専門職の支援
を受けながら暮らすことで、ご家族
の負担を減らすこともできますよ。



在宅医療のいいところ！

- * 住み慣れたわが家で暮らし続けながら、必要な医療を受けることができる。
- * 自分の時間や家族との時間を大切にできる。



- * 通院できないと医師が判断した場合に、医師に訪問してもらえるため負担が少ない。
- * 医師だけでなく、多くの医療や介護の専門職による在宅でのサポートを受けられる。
- * ペットとも一緒に暮らせるなど、生活リズムも自由になる。
- * 住み慣れたわが家で最期の時を迎えられる。



介護の負担が心配・・・

誰かに話しましょう！

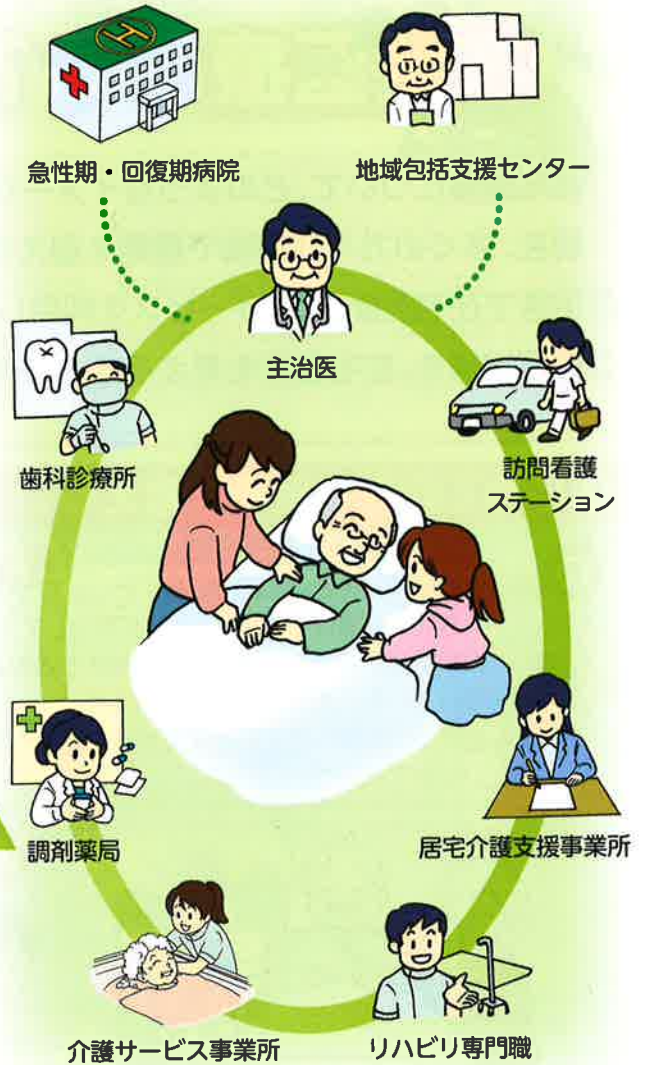
ひとりで抱え込まないで！

息抜きをしましょう！



自宅での生活を支える多職種のサポート

あなたが望めば、ご自宅に医療や介護の専門職によるチームが伺い、いろいろな専門職によるサポートをご自宅で受けられます。



川崎市内の医療や介護の専門職の皆さんと在宅医療を推進しています！

川崎市では、医療と介護の連携に向けた多職種による顔の見える関係づくりに向けて、「川崎市在宅療養推進協議会」を設置し、在宅医療の推進に向けて取り組んでいます。



〔医師会：染谷貴志担当理事〕

「川崎市在宅療養推進協議会」とは？

市内の医療や介護の専門職による関係団体で

- ①より円滑な医療や介護の専門職による連携の推進
- ②在宅医の負担軽減策の検討
- ③市民への啓発を進めています。

川崎市医師会・川崎市病院協会・川崎市歯科医師会・川崎市薬剤師会・川崎市看護協会・川崎市介護支援専門員連絡会・神奈川県医療社会事業協会 神奈川県理学療法士会・地域包括支援センター・川崎市



川崎市内の在宅医療推進の取組や活動している人を紹介します！

高津区の在宅医療を推進！

在宅医療には、様々な職種の人に関わっています。それぞれが勝手に患者さんの自宅で自分の仕事をすればいいわけではなく、連携がとても重要です。高津区では、多職種の連携のためには顔が見える関係が大切と考え、「医療と福祉を考える会」という連携の会を通して、意見を言い合える場を作っています。医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護、ケアマネジャー、地域包括支援センター、区保健福祉センターなど、多くのメンバーが活発に講演、会議などで親睦を深めています。



〔高津区在宅療養調整医師〕
染谷貴志医師



川崎区の在宅医療を推進！

若い世代の流入と同時に急速な高齢化が進む川崎区では、行き届いた医療・看護・介護・福祉・生活支援サービスのある最幸の街づくりをテーマに、携わる多職種の方々と「推進協議会」を通して連携を深め、さらに地域住民の方々と一緒に考える「実際に体験できる在宅療養ワークショップ」を開催してまいりました。

活発な意見交換の内容は冊子にまとめられ、啓発活動につなげております。みんなで最幸の街づくりを実現しましょう。



〔川崎区在宅療養調整医師〕
渡邊嘉行医師



在宅医療サポートセンターってなあに?!

川崎市の在宅医療の推進にあたって、2014年4月に開設されました。この在宅医療情報誌の作成や出前講座の実施など、皆様への普及啓発を進めています。また、ケアマネジャー、地域包括支援センター、区保健福祉センター等の相談機関からの医療的な相談窓口です。

さらに、医療や介護の様々な専門職の方々が、スムーズに連携を進められるような仕組みづくりを進めています。

在宅医療サポートセンターの運営は、川崎市看護協会が川崎市から委託を受けて、進めています。

お問い合わせ TEL 044-711-3995

FAX 044-711-5103

コーディネーター：須藤みちよ



こんにちは! ケアマネジャーです!



川崎市介護支援
専門員連絡会
出口智子

はじめまして! 皆さま、「ケアマネジャー」って言葉をお聞きになったことはありますか? ケアマネジャーは正式名称を「介護支援専門員」と言います。書いて字のごとく「介護」を「支援」する「専門家」の事です。私たちケアマネジャーは、介護が必要となった方や、そのご家族に寄り添って、自分らしい生活を継続すること、また、少しでも介護が必要な状態を軽減したり、悪化させないことを目指して、市民の皆さまが安心して暮らしていけるように支援しています。



健康情報

口から食べることの大切さ



食べることは体力の維持や病気になりにくくするためだけではなく、私たちが生きていく上での大きな楽しみのひとつです。口から食べることでの五感の刺激、食べる事を通じて家族等とコミュニケーションをとったりする触れ合いも、脳の働きを高め、生きる喜びへとつながります。

口から食べると
なぜいいの？

- ★口から食べ、栄養が吸収される事で、胃腸の粘膜の免疫力が高められ、感染防止につながります。
- ★だ液の分泌をうながし、口腔内衛生も保たれます。



口腔ケアの大切さ



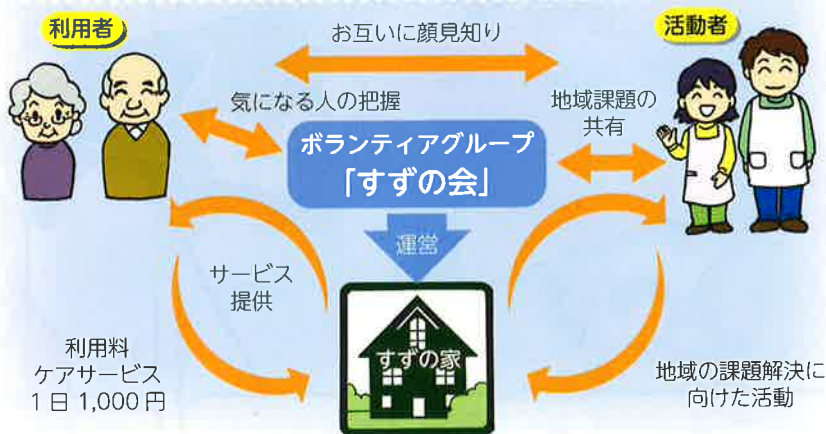
誰でも食後は口の中が汚れますが、口唇や舌の動きが悪かったり、感覚の低下があつたりすると汚れがひどくなります。放置しておくと細菌が繁殖して歯や歯茎に歯垢が付き、粘膜は炎症をおこしていきます。口臭がして、食物の味が悪くなり、いつも口の中が粘りついて不快な気分になります。意識障害や嚥下障害で口から食べられない場合を含め、どんな状態にあつても「口腔ケア」を忘れないようにしましょう。[川崎市歯科医師会]

地域の支え合い助け合いの活動紹介

宮前区野川地区を対象に、集いの場として、月2回のいこいの家でのミニデイ、個人宅など30か所を超えるご近所サークル「ダイヤモンドクラブ」での茶話会等を行っています。

また、介護情報誌「タッチ」の発行や、地域での見守りを行うために、マップづくりに取り組んでいます。さらに、昨年4月から、虚弱な高齢者を対象に空き家を活用して日中を過ごしていただく「すずの家」をオープン。

ボランティアグループ「すずの会」(すずの家の取り組み)



代表の鈴木さんからのメッセージ

PTA 仲間と、介護経験を地域で活かし「ちょっと困った時、気軽に鈴を鳴らしてください。」という意味で、「すずの会」を立ち上げました。当事者の困りごとを生活者の視点で解決することをめざしています。



■在宅医療市民シンポジウム「最期まで自分らしく暮らすために」

【日時】平成27年10月25日(日) 14:00～16:30 **終了しました**

【場所】川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)7階大会議室(武蔵中原駅下車徒歩1分)

国立長寿医療研究センターの三浦久幸氏の基調講演、市内医療・介護従事者によるパネルディスカッションを予定しています。詳しくは、9月1日号の「市政だより」や案内チラシを確認の上、表面記載の川崎市看護協会まで、電話 044-711-3995 又は F A X 044-711-5103 にて、お申込みください。(申込先着順 180名)

